

未来

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4519
25年1月31日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

郵政ユニオン 第13回地方委員会

おはようございます。
1月25日、郵政ユニオン九州地方本部は第13回地方委員会を開催しました。委員会は田尻書記長の開会挨拶でスタートし、議長には、長中局支部の向井委員が選出されました。

冒頭の委員長挨拶で米地九地本委員長は、「25春闘では昨年以上に運動を広げ、この流れを強めていく必要がある、ストライキを構えた運動を提起します。ストライキは会社の不誠実な対応に対し、反対を示す意思表示でもあります。大幅賃上げと格差是正、職場労働条件の改善を求め25春闘勝利に向けて奮闘していきましょう」と出席者に訴えました。
次に、来賓として出席された石野中央本部執行委員から、全国の状況を踏まえ25春闘での本部

からの意見や要請がありました。

春闘へ向けてのビデオ学習会

今回はある企業における春闘の一連の行動をドราม化した映像を視聴しました。労働者の要求に対してなかなか応じない会社に対してストライキを行い勝利した内容でした。この中で大事なのは1人1人が立ち上がり團結することの大切さではない。「賃金は上がるものではない、上げるものだ」この言葉は心に残りま



25春闘に向けての討論委員会

討論委員会では、最賃まかせで春闘では蚊帳の外です。郵政最賃をもっと上げてほしい。○一般職という名ばかりの正社員化で登用試験

の受験者は減少し結果合格率が上がったかのよう感じます。正社員間での格差是正、待遇改善を見直してほしい。



○要員不足が原因で他班への応援配置が常態化し、いろんな担務に従事したりして、心身ともに疲労しています。現場目線での適正要員を求めます。

○非正規社員でもアソシエイト社員は無期雇用であるのに退職金制度がありません。ぜひ設けてほしい制度の一つです。

○奨学金返済制度を福利厚生として導入してほしい。会社が肩代わりする事で定着率も高くなるのではないのでしょうか。

○非正規社員のボーナス算出の係数を0.3から0.8に上げてほしい。また、病気休暇取得における賃金の影響も大きく、申請にブレーキをかける原因になっています。早急に見直してほしい。

郵政ユニオンは組合員を決して一人ぼっちにはしません。個人に耳を傾けて活動しています。地方委員会では改めてこのことを確認しました。春闘は決して他人事ではありません。自分の事として考えて行動する最良の時期です。



お詫びと訂正

1月24日の未来(4517号)に誤りがありました。お詫びし訂正いたします。

1月21日、長中局から「1月24日の未来」で「聞いた話」としながら事実と違う話がかかれていた。訂正記事又は事実と異なっていた旨の記事を掲載するよう要望します、と申し入れがありました。申し入れ箇所・内容(太字で掲載)に対する対応

記事の削除や組合の主張を掲載します。

1 「お前がそんな対応だから事故が続く」↓発言は全く削除します。

2 「某専門役」↓指導役と訂正します。

3 「課長が当事者を庇う」(*あなたも浴び発言したような書き方を訂正すること) ↓発言を掲載したわけではなく組合の主張です。

4 「カーブミラー設置を否定」↓上記の部分は削除。経営会議メンバーで協議し設置しないことを発言者に伝えた、と追記します。

5 「制限速度30kmの道路をずっと徐行していくのが最適なことでしょいか？」 ↓発言を掲載したわけではなく組合の主張です。

6 「今回の会議には私は出席していませんので、一言一句間違いないとは言えません」(*言い訳をすることなく文責を持つべき) ↓今回複数箇所訂正の申し入れを受けました。その中には事実と異なる箇所もありました。今後は正確な記事の掲載に努めます。

以上、訂正いたします。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。 めいせ、均等待遇、ななくさ差別! ユニオンは労契法裁判に勝利するまで!